

令和6年度ごみゼロやまがた推進県民会議総会議事録

《日時》

令和6年5月29日（水）10時30分～11時30分

《場所》

山形県村山総合支庁 講堂

《出席委員》（※委員名簿順）

五十嵐律子委員、石塚昭宏委員、板垣裕子委員、大江うた子委員、河合麻衣委員、川口正男委員、黒澤利宏委員、小関恵子委員、笹原美百紀委員、佐藤清委員（代理：細川江里子氏）、佐藤友介委員、庄司里沙委員、千歳毅委員、長谷川正芳委員（代理：山田茂雄氏）、細谷由紀委員、前田直之委員、山崎和男委員、山本幸子委員、吉田健志委員

計19名

《総会》

1 開会

- ・事務局から出席者の紹介

2 あいさつ

- ・高橋環境エネルギー部長あいさつ

3 議事

(1) 会長等の選出

設置要綱第3条第3項により、互選により千歳委員が会長に再任され、千歳会長の指名により副会長として県民部会の吉田委員、産業部会の黒澤委員が選任された。（設置要綱第4条第3項により各副会長が各部会長となる。）

(2) 報告

- ① 山形県循環型社会形成推進計画に係る県の取組みの令和5年度実績及び令和6年度計画並びに数値目標の達成状況等について
- ② ごみゼロやまがた県民運動の令和5年度活動実績について
- ③ ごみゼロやまがた推進県民会議各委員所属団体の活動に係る令和5年度実績及び令和6年度計画について（資料1～6）

【事務局】（配付資料により説明）

【質疑】

＜川口委員＞

資料4の市町村別のデータでは、上位と下位に大きく差があるが、原因はなにか。

<事務局>

特に庄内地域にごみの排出量が多い傾向が見られる。ごみの有料化をしていないことなど、様々な要因が考えられるが、昨年度、鶴岡市が実施したごみの組成調査の結果、可燃ごみの中に、食品ロスが約10%含まれていたほか、リサイクル可能な古紙類や容器包装プラスチックも多く含まれていた。食品ロスの削減などのごみ削減の取組み、分別の徹底などのリサイクルの推進の取組みが、ごみの排出量の減少に繋がるものと考えている。

(3) 協議

- ① 令和6年度「ごみゼロやまがた県民運動（家庭編・職場編）」展開方針（案）について (資料7)

【県民部会長】（家庭編について配布資料により説明）

【産業部会長】（職場編について配布資料により説明）

【事務局】（補足説明）

原案どおり了承された。

- ② 令和6年度「ごみゼロやまがた県民運動」の活動内容（案）について (資料8)

【事務局】（配付資料により説明）

原案どおり了承された。

- ③ 令和6年度ごみゼロやまがた推進功労者表彰について (資料9)

【事務局】（配付資料により説明）

原案どおり了承された。

(4) 意見交換

<大江委員>

マイボトルの普及啓発に協力するに当たり、マイボトル普及啓発ステッカーを団体執行部内で配付する分をいただけるか。

<事務局>

本日お持ち帰りいただけるようにご用意しているので、会議終了後にお渡しする。また、ステッカーの枚数には限りがあるが、画像データの提供も可能なので、印刷物への掲載など、普及啓発にご協力いただきたい。

<前田委員>

資料7-2の展開方針（職場編）の「環境配慮製品の優先購入！」について、県で購入している物品のうち環境配慮製品の割合や数値目標などがわかれば、各企業も環境配慮製品の新規開発に取り組むきっかけになると思うが、県の対応状況を確認したい。

<事務局>

県のエコマネジメントシステムにおいて、「環境に配慮した購入・契約の推進」に取り組んでおり、担当部署において目標設定・実績把握もしていたかと思うので、確認して後日お知らせすることとしたい。

4 その他

事務局から、次回の県民部会・産業部会について、令和7年2月下旬ころに開催し、令和7年度のごみゼロやまがた県民運動の展開方針を協議いただく予定であること、高校生環境にやさしい料理レシピコンテスト2024inやまがたの二次審査を各委員にお願いする予定である旨を説明

<大江委員>

県JA女性組織協議会では、SDGs活動の一環として、産地直売所などの施設で廃棄していた食材を子ども食堂に提供しており、ごみ削減にも繋がっていると考えている。今後、農家の減少により提供できる食材の量も減少していくと思われるため、行政からも支援いただきたい。

<事務局>

県でも、環境、食育、地域福祉などの担当部署で食品ロス削減推進に関する会議を開催している。引き続き情報を共有し、行政からの支援について検討したい。

5 閉会